

# なきごえ



1974

5

大阪市  
天王寺動物園協会

# 動物と私

朝日 稔

公害、汚染、環境破壊と毎日のように騒がれてくるようになった。世界を驚かせた経済成長が、実は人類すべての共有財産である「自然」を、ひとにぎりの企業が食いものにした結果であることが、ようやく明らかにされてきた。

汚染といえば、むつかしい器具を使って何ppmとやらを測定する。その測定に当る研究所が企業と直結していたり、もっとひどいのは試料をすりかえたりしていたという。しかし、考えてみればカーリン女史が最初に農薬の害を訴えたのは、「春になっても小鳥たちが歌わない——沈黙の春——」だった。動物はウソがつけない。その上、蓄積された慢性の毒や未知の害にも反応する。すりかえられる水を化学分析するよりも、川底の生物を調べればもっと適確な判断ができたであろう。

ここ十年ほど、野生哺乳類の食性を調べているが、最近イタチについて奇妙なことに気がついた。

関西地方のイタチは、もともとからいたホンDOIタチと昭和はじめに神戸附近に移入されたチョウセンイタチにわけられる。チョウセンイタチは、対馬には以前からいるので、業者は対馬の古名をとって「対州」と呼んでいる。ホンDOIタチより大型で、足の先が茶色、口の周囲の白斑もちがう。移入後、神戸を中心に同心円状にひろがり、次第にホンDOIタチを追い立て、昭和30年ごろには平野部でとれるのはすべて「対州」だというようになった。イタチの毛皮は脱色して、黒っぽい色に染め直し、ジャパニーズミンクという名で輸出される。なかにはコートに仕立てられて、再輸入されることもある。

ところで、昭和40年ごろからイタチの捕獲が減ってきた。一方でミンクの養殖が成功し、その上世界的になんとなく暖かくなって毛皮の流行がとまったせいもある。しかし、実際にも、昭和35年ごろからだんだんとイタチがいなくなったのである。

イタチの食物は、私が調べた結果でも、ネズミとカエルが主である。イタチがいなくなったのは、はじめに書いた「沈黙の春」、つまり農薬の二次、三次の汚染を受けたのである。ホタルやトンボや小鳥たちと同じ道を、イタチも歩かされたのである。

あちこちの川から奇形の魚が捕れ、牛乳にまで農薬が含まれるようになって、やっとその使用が禁止になった。そしてイタチも復活してきた。ところが平野部に出てきたのはホンDOIタチだった。昭和45



年ごろ、食性を調べるために兵庫県を中心に関西地方で400匹あまりのイタチを集めたら、85%がホンDOIタチであった。淡路島にはもうチョウセンイタチはいないとさえいわれている。農薬の恐しさを知らない。「対州」は、カエルやネズミの多い平野部を占領していたために、その害をもろに受けて、かえって全滅に近い打撃を受けたのであろう。

イタチの平均寿命は、野生状態ではおそらく2年ぐらいであろう。そしてその食性は偏っている。人間は60年、70年と生き、何でも食べる。農薬をはじめとする、各種の汚染もイタチよりもゆっくりと進行するだろう。今、ただ生活に便利だからと都会へ集中している人口も、もしこれから公害——実は企業害がひろがるなら、チョウセンイタチと同じく、滅亡の運命をたどることになるかもしれない。

これだけ害の大きい農薬が、今でも東南アジアそのほかへ輸出されているという。地球は広いようで狭い。次には何がはねかえるか、まだ判らないことがたくさんある。写真で私がもっているのはヌートリアである。これでもネズミの仲間、イタチがいなくなったところから、岡山県の平野部で大繁殖は始めている。水田を荒すだけでなく、堤防に直径50センチ以上もある巣穴を掘るので、洪水でも起れば危険この上もない。最近京都と兵庫の由良川水域でも発見されている。この増加とイタチの減少とは無関係だろうか。

動物はウソをつかない。その動きは人間の鏡である。私はこのごろしみじみとそう思うようになった。

(兵庫医科大学教授)

## なぎごえ5月号もくじ

動物と私	2
テナガの親子	3
動物園グラフ(オランウータン)	4・5
熊とツチノコと谷崎潤一郎	6・7
キジの飼い方	8
小学生の作文から	9
動物相談(4)	10
動物園ニュース	11

## 表紙の写真説明

“シロハラウミワシ”

インドネシアの水辺にすんでいるワシです。魚を主食としますが、爬虫類や海の小動物も捕食します。



## “テナガの親子”

1月2日に産まれたテナガザルの赤ちゃんは、寒い冬を母親の胸に抱かれてすごし、すっかり大きくなりました。このごろは、少しずつ親から離れて、愛きょうをふりまいています。

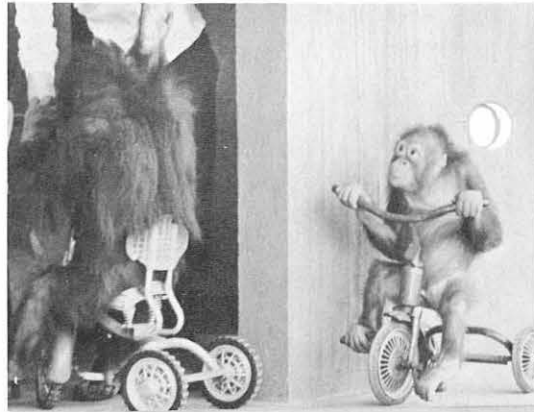
# 動物園グラフ



↑ 三輪車のり  
足の力だってホラこんなに強いんだゾ

## “オランの演技”

オランウータンのユキ（めす5才）とさつき（めす3才）が動物園まつりのステージであいさつのある演技をみせています。今月はその演技を紙上で御紹介しましょう。



↑ もういいのかなあーとさつきちゃん



← テーブルマナー  
好物のリンゴとバナナをフォークで上手につきさして食べ、その後ミルクを茶びんからカップについて飲む。



拍手  
みなさんにを要求している



↑ 舞台のそでまでお客さんでいっぱい明るい陽ざしで、お客さんものんびり、珍しい演技に満足げ



↑ ゴーカートのり  
仲よしのユキとさつき、相乗りで楽しそう

おじぎ  
↓ 演技のおわりのあいさつ



## 3・4月の動物園日記

- 3/21. 昨年4月から今年2月末までに死亡した動物128点と、府下で死亡した家畜等の慰霊のために、総合家畜動物慰霊祭が行われました。
22. アナグマが2頭出産しましたがすぐ死亡しました。
23. アライグマが2頭生まれました。
- スジオナメラ1頭の寄付がありました。
25. キリン（オス）が1頭生まれました。少し小さくて心配ですが、授乳も良好です。
27. セイランのオスが急性の心不全を起こして死亡しました。
30. 南園の日本庭園の隅で抱卵中のコブハクチョウが

抱卵を中止しました。どうやら悪童が卵を取ろうとして驚かせたためようです。

31. フンボルトペンギンが2羽化しました。
- 4/1. ジャッカルが4頭生まれました。オス2頭とメス2頭です。
- オオコウモリが左翼の才二、三指骨を骨折したのでピンニングで固定して治療しています。
- シュバシコウが2羽起立不能となり、収容室へ入れて治療しています。
2. インドニシキヘビが産卵しました。
3. 池田市立五月山動物園からメンヨウ4頭の寄贈を受けました。
4. ニホンザルが1頭死亡しました。
6. 3月23日に生まれたアライグマの1頭が死亡し、残りの1頭を人工哺育に切替えました。

- ジャーマン（オス）の寄付がありました。
- クロコダイルが仲間に咬まれて、首の付根の皮膚が15cmほど切れ、縫合してやりました。
7. エチオピアライオンが2頭生まれました。カワウのメス1羽が死亡しました。
8. ハナグマが5頭出産しました。
9. トコツーカンが衰弱して死亡しました。
11. 3日前に生まれたハナグマの仔のうち体が弱かった3頭が死亡しました。残りの2頭は哺乳も良好で大きく育っています。
- アオサギが1羽死亡しました。
12. スクテが5頭出産しました。
14. スクテの仔4頭が死亡しました。母親の乳の出が良くなかったためようで、残りの1頭はすぐ人工哺育することにしました。

15. シロキジがキャピラリア症で死亡しました。すぐ放養舎内の鶉鶏類の駆除も実施しました。
16. シロテテナガザル1頭（オス）の寄付がありました。
18. トラの交尾が見られました。うまくゆくと8月上旬に赤ちゃんが生まれるでしょう。
20. ダチョウのオスが関節炎を起こしており、治療中です。
21. キューバフラミンゴが産卵しました。今年はや、おそいようです。
22. ゾウガメが断食を続けており、なんとか食べさせるように頭をひねっています。
24. ハムスター8頭の寄付がありました。
25. 仔ギツネが1頭（オス）保護されて来ました。

# 熊とツチノコと谷崎潤一郎

## 奥吉野の動物たち

笠原 宏也

### 月の輪熊 ピー子

ピー子は1947年2月15日、大台ヶ原山の西麓、奈良県吉野郡上北山村小椋の風折谷で生まれた牝の月の輪熊である。いまでも同地の辻内常治氏方で飼われているが、もう体重もとっくに50キロを超える巨体である。もちろんそれだけ食べたのであるが、野生の熊に比べて食糧事情がよかったことはいまでもない。



ピー子と辻内常治氏

面白いことにピー子は生まれた日に山で辻内氏に捕えられ、そのまま親熊の摺り込み学習は一切なされていないのであるが、餌に対する警戒心は非常に強く、見知らぬ食物については主人の辻内氏が食べてみせるまでは口をつけない。犬のように口いやくはしない。ただ彼女がまったく警戒心なく手を出すのは莓と川魚だけ（蜂蜜もそうだと思うが未だ実験していない）である。野生のものならば親熊から教え込まれるわけであるが、このように生まれたときから人間に育てられた熊が、ほとんど野生状態の食生活を本能的に識っているのには興味を持たれる。奥吉野には自生しないバナナやリンゴに対してはしぶしぶ手を出すような状態である。

それからもう一つ面白いのは煙草の煙や灰が大好きなことである。煙草の煙を吐きかければ舐めにくるし、辻内氏がポケットにしぼせた灰を嗅ぎつけて手を突っ込んでくるしまつである。ムツゴロウ（畑正憲）氏も熊のドンベエについて同じ習性を指摘されているが、この熊の煙草ずきについて、どなたか納得のいく説明をしてはくださらないものだろうか。

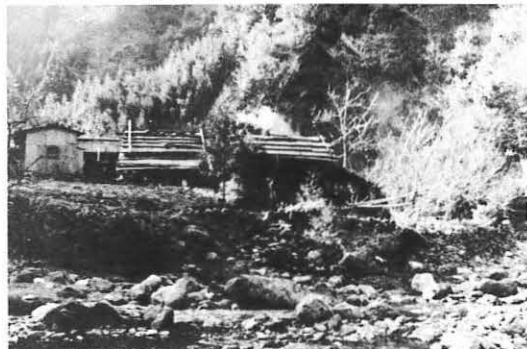
### 大台ヶ原山のツチノコ

ピー子がすむ上北山村は後南朝の秘史で隣の川

上村とともに有名なところであるが（戦後まで後南朝史は歴史教育のタブーとされ、毎年二月五日後南朝の皇子をまつる川上村の朝拝式も戦時中までは憲兵の監視下にあったという。後南朝とは吉野朝の動乱が治まった後の応永年間も、南朝の皇子を遺臣が奉じて、この奥吉野にたてこもり、やがて北朝の機嫌をうかがう赤松家の謀臣に弑されたこと（三ノ公谷は、上北山村から大台ヶ原を越えた川上村三ノ公谷は、その後南朝のメッカであり、当時は仮御所や朝堂が建ち、空因親王、尊秀王、忠義王の三皇子が潜龍され北朝の神経をいらだたせるのに十分であったという）。

しかし、その三ノ公谷は峻険な岩壁をぬって流れる本次川溪谷の支流のさらにその奥にあり、現在林道を開発中とはいうものの相当山なれた人でなければ入ることのできないかくれ里なのである。

ところが昭和31年、この川上村に伝わる後南朝史を後世に正確に伝えようと『後南朝史論集』が編まれたが、その主たる執筆者であった国学院大学教授滝川政治郎博士がこの地を訪ねられ、三ノ公谷の山守り西浦房太郎氏の案内で宮廷があったという隠平



三ノ公谷の西浦房太郎氏の家を探訪したときのことがこの本に載せられている。

その紀行文の中に「くさむらの中をビール瓶ぐらいの太さの蛇が走ってゆく。西浦氏に訊くと、あれはトックリ蛇という蛇で、毒はないという」とあるが、まさにこれが私の見たツチノコに関するもっとも信憑性の高い記述である。私は二三度西浦氏にお目にかかったが、残念ながらこの文献を読んでいなかったので詳しくお訊ねすることがなかった。

また、このトックリ蛇が蝮の間違ひではない証拠に、この文の最後の方に博士は「（西浦氏の）奥さんがここへ嫁入って来られた頃には、畑へ出ると到

るところに蝮がとぐろを捲いていて恐ろしかったが…」と書かれている。どなたか滝川博士に詳しい当時の話をお聞きになっておけば貴重な記録になることであろう。

### 吉野山の狼

奥吉野へ入ればいや応なしに見聞きするのが狼のことと後南朝の話であるが、この後南朝のことを最初に小説に採り上げたのが谷崎潤一郎の『吉野葛』である。谷崎はいろいろと後南朝史蹟をめぐった後で「三の公は史実よりも伝説の地ではないであろうか」と書いているが、当時としてはここまで書くのがせいっぱいのことであったであろう。

昭和五年二月、当時四十五才の谷崎は佐藤春夫と妻を交換するという大事件をやったのけ、十月二十四日に高野山から大和上市にやって来たという。

当時、上市から吉野川を湖ること六キロの地にある宮滝が天武・地統帝らが壬申の乱の策謀地であり吉野離宮跡ではないかとして発掘調査しておられたのが、最近高松塚古墳を検出された橿原考古学研究所長の末永雅雄博士である。

『吉野葛』の中で、谷崎は宮滝遺跡の近くにある菜摘の里に大谷という旧家があり、その家に伝わる初音の鼓を見に行ったことを書いている。初音の鼓は義経が吉野山へ逃れるとき、静御前が残した鼓だといわれるものである。その大谷家へは末永博士もともに招かれ、初めて大谷崎に会われたわけであるが、その挙措にも十分大人物の風格が伺えたとは博士から直接うかがった思い出話である。大谷家は大きな熟柿を出して客をもてなしたが、博士が自ら熟柿の食べ方を示し、谷崎は「歯ぐきから腸の底へ沁み徹る冷めたさを喜びつつ甘い粘っこい柿の実を貧るように二つまで食べた。私は自分の口腔に吉野の秋を一杯に頬張った」のである。その後も谷崎は宮滝の発掘現場を見学しに現われ、末永博士が説明をされたそうであるが、同時に見学しにやって来た若き日の前田青邨画伯が、後に高松塚古墳壁画の模写に畢生の努力を傾けられることになったことは人生の出会いの面白さでもいうことにならうか。

ところで、末永博士のお話の中に、この宮滝の地から夜、用が出来て急に吉野山に出かけなければならないことがあったが、土地の人から夜の喜佐谷（宮滝から上ノ千本へ到る道）は狼が出るからと、しきりに止められたそうである。当時、大和上市か



宮滝遺跡

らバスは川上村の柏木までしか通わず、吉野川流域はまったくの秘境であったという。発掘調査中も食糧はトンドで焼く芋であり、その芋も土地では採れないので栃木県から吠に入れて送られて来たという。しかし、ときどき食膳には吉野川の鮎が上ることもあり、いま、シーズンともなれば満員の登山客を乗せて大台ヶ原へ、大峰山へとバスが向うのを考えれば、まったく今昔の感にうたれるのである。

吉野の狼も、開発に追われ追われて奥地へと逃げたのかも知れないが、最近また遠吠えを聞いたという話が時どきは地元の人々の口に上ることである。



## キジの飼い方

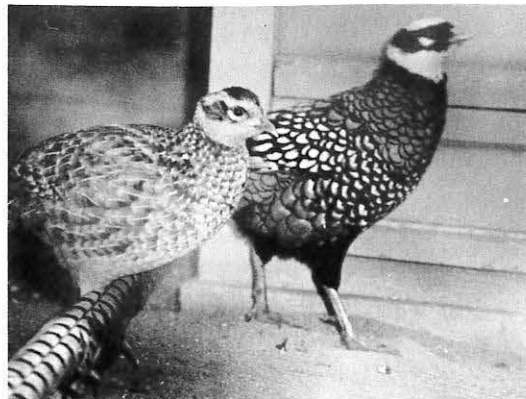
林 邦彦

今迄は小鳥から猿に至るまでペットとして数多くの小動物が飼われてきましたが、その中で近頃、キジが脚光を浴びてきました。ことにキジの容姿の美しいこと、繁殖しやすく管理が容易なため広く観賞用として飼育されつつありますので、初心者のために飼い方について述べてみます。

キジの種類は多く、一般にキジといえばニホンキジ、ヤマドリ、それに中国産のニジキジ、キンケイ、ギンケイなどで、どんな種類を選ぶかは、飼育される方の好みによりますので、動物園等でよく観察の上、決めればよいと思います。

### ○飼い方

南向きの半露天式の小屋で、広さは5㎡もあれば充分で、高さは150cm位にして止まり木と雌の隠れ場所を作ってやります。発情期には雄が雌を追い回して傷つけることがありますので、リング箱を置いてやります。運動場には木を植え、砂浴用の砂も入れてやります。キジは人に慣れにくく、驚きやすいので管理には充分注意が必要です。又、雄同志は闘争性が強いので、繁殖期には2羽の雄を同じ小屋に入れないようにします。繁殖期は2月頃で4～6月に約15個位、産卵します。種卵をとる場合には雄1羽に対し雌3羽を同じ小屋で飼育します。餌は最近、キジ専用の固型飼料が市販されていますが、一般にはニワトリ用配合飼料が使われています。1羽当たり100g程与えます。青菜は毎日与え、それにボレー粉は常備し繁殖期には特に魚粉を与えます。キジは抱



卵しませんので孵卵器による人工ふ化か仮母(チャボ)に抱かせます。仮母による場合は母鳥が面倒をみます。人工孵化後の育雛はヒヨコの育雛と全く同じですが、餌付は孵化してから24時間後に初生雛用チックフードを水で堅めに練って、2～3時間ごとに1日5～6回、ばらまいて与えます。発育するにつれて1日の回数を減じ1週間めから粉餌のまま餌箱に入れ、水も与えます。育雛箱の温度は38～40℃位に保温し30日前後で温度を低くし保温をやめます。1ヶ月もたつと雛も大きくなり育雛箱が狭くなりますので広い場所に移し餌も中雛用を与え70日位から大雛用、120日位から成鶏用に切替え朝夕2回与えます。1年後には整った立派な容姿になり産卵を始めて

後参考までに大略の価格は下記の通りです。

ニホンキジ(2年目、一番)	¥ 12,000
ギンケイ(2年目、一番)	¥ 45,000
ニジキジ(2年目、一番)	¥ 120,000
キンケイ(2年目、一番)	¥ 18,000

(動物園飼育係)

## 小学生の作文から

### 遠足

大阪市立味原小学校 2ねん

そわ ひろあき

きょうは、天王寺どうぶつえんへ、遠足です。朝から、うれしくてたまりません。

天王寺どうぶつえんにつくと、さるや、チンパンジーや、あしかなど、いろいろ、めずらしいどうぶつを、つぎから、つぎへと、みていきました。ライオンの前に、きました。ライオンは、大きな口を、あけました。おもしろいので、ぼくは「もう、一かい、口を、あけ！」と、いいました。すると、ちょ

### 遠足

大阪市立味原小学校 2ねん

かめだ まさあき

遠足でゴリラをみました。そのとき、うんがよかったので、ゴリラは外に出ていました。ゴリラは、おすとめすで、二ひきでした。みている人が、ゴリラのめすばかりに、おかしやら、みかんをあげるので、おすがおこって、むねをたたきました。すると、「ボン、ボン、ボン」となったので、びっくりしました。ぼくは生まれてはじめてこんな音をききました。こんどはおすにおかしをなげてやる人がいました。するとめすがよこどりして、かんぜんにおすがおこりました。おすはものすごくおこってめすをおしてこかして、石にぶっつけました。こんどはめすがおこって、おすにかみつこうとしたので、おすはこわがって家の中のほうにはいっていきまし

っとして、口をあけました。ぼくは、せきやくんに、「きこえたのかなあ」と、いいました。せきやくんは、「さあ。きこえたのかなあ」と、いいました。ぼくは、人げんのことばがわかるわけがないあと、思いました。

こんどは、へびのところへきました。いろんなへびがいます。女の子は、「キャー、キャー」と、いってこわがっています。ぼくは太いへびも、ほそいへびも、見ました。

それから、くまや、ぞうや、きりんをみて帰りました。いろいろな、どうぶつをみることができ、うれしかった。

た。ぼくは『へんだなあ。』と思いましたが、そのときすぐまた、ゴリラのおすはでてきました。いまけんかしたばかりなのに、もうなかよしになりました。えさをやらないようにとかいてあるのに、けんぶつしている人は、おもしろがってみかんなどをなげていました。ぼくはゴリラを見ていると、きゅうにおなかがへってきました。ふんすいの横でおいしいおべんとうを食べました。ゴリラのほか、フラミンゴやぞうやキリンや、なかのいい、とらとライオンのところや、ゼブラやさい、キリンなどいろいろな動物をみました。鳥にもきれいな鳥や、きたない羽根の鳥がありました。ペリカンとか、うみわし、すかんく、いのししなどもよくみました。日本ぐまのところには、月の輪ぐまと書いてありました。小林くんや芳崎君は、カバのことをはんたいにすると、『バカやね。』とおもしろいことをいっていました。とてもたのしい一日だったと思います。

最近、サルの赤痢事件が各地で起こっていますが、今回はサルの病気についての相談を二、三拾ってみました。

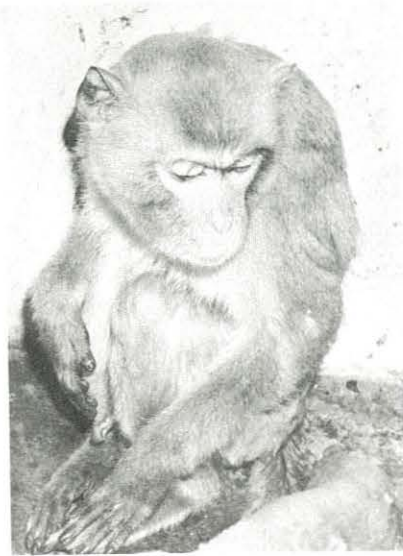
1. サルの赤痢

3月末から関東地方の群馬、神奈川、東京などで、ペットで飼っていたサルから赤痢を感染させられるという事件が相ついでせいか、4月に入ってから、電話でサルの赤痢に関する問合せが30件ほどありました。現在、赤痢事件を起こしているサルは、インドネシア原産のカニクイザル、ブタオザルがほとんどのようで、輸入される内の半分近くが赤痢菌を有していると言われていています。ところが今までサル類に対する検疫は全くなされていない状態だったため、このような危険性が野放しだったわけです。今後サルに対する検疫も強化されると聞いていますので、この危険性も減少することでしょう。

ところで赤痢菌ですが、これは昔は人以外の動物には感受性がないと言われていたのですが、10数年前にはじめて類人猿から赤痢菌が検出され、人間の他にサルも感受性があることが分かりました。このため人からサルへ、あるいはサルから人へというように、赤痢菌の相互感染もあるわけで、サルをペットとして飼う場合は充分気をつける必要があるわけです。

さてこの赤痢に対する不安ですが、衛生環境さえ良ければそんなに恐ろしいものではありません。この感染方法は経口的に行なわれるもので、サルの糞便に含まれる菌が何らかの方法で人間が口に入れた時に発症するものですから、サルを常に清潔に保ち、サルに触れた時は必ず手を洗うことです。それに長期飼っているサルで便に何ら異常がなければ、まず赤痢の心配はありません。赤痢に感染した場合、4、5日位経って下痢、腹痛などの症状が出ますから、下痢便、粘液や血液の混じった便をするサルには注意が必要です。現在赤痢事件を起こしているサルは、原産地で感染し日本に輸入されてきた頃に発症して死ぬケースのようですので、ペットとしてサルを飼った場合は、最初の1ヶ月位は健康状況に注意する必要があります。もし変な症状でも示すようでしたら動物園に相談されるなり、糞便を保健所へ持って行って検査してもらいましょう。

2. サルのかぜ



ペットとして飼われているサルはほとんど南方原産のため、ちょっとした寒さでもかぜをひく場合が多いようです。症状は人間と一緒に、鼻水を出したりくしゃみ、せきなどを

します。こういう症状を示したら、まず保温してやることです。夜間は特に冷えこみますから、常に25℃位に保ってやる必要があります。薬としては人間の小児用のシロップ状の感冒薬を与えるのがよく、むやみに抗生物質を使用するのはさけるべきです。高熱を出したり、長びくようでしたら、一度獣医師に診察してもらった方が良いでしょう。(平熱は37~38℃)

3. サルと人間の感染疾病について

サルと人間が相互に感染する病気がいくつかあります。その内の一つは①に書きました赤痢ですし、又②に書きましたかぜについても、人間の流行性感冒のウィルスが実験的にサルに感染することが証明されています。それ以外に、人間では大した病気ではないのに、サルが感染すると重症に陥り死亡する病気があります。これはヘルペスウィルスというウィルスが原因で起きるもので、発熱し水泡性の口内炎を起こします。それから結核も人とサル相互で感染する病気です。ただこの場合は、人からサルに感染するケースが多いようです。

サルはペットとして飼うと非常にかわいいものですが、どんな病気をうつしたり、うつされたりするかわかりませんので、かわいがるのは結構なことですが、必ず人間の生活とサルの生活とは切りはなして飼う必要があります。(宮下 実)

※動物相談は平日の3時~4時の間で、電話番号は771-8402です。

☆出産ラッシュ

春の訪れと共に動物園は出産ラッシュです。3月22日にアナグマが2頭出産しましたが、これは惜しくも死亡しました。翌23日に



4月7日にエチオピアライオンが2頭(オス、メス)誕生しました。哺乳も良好です。

8日にはハナグマが5頭出産しましたが、やや体格の劣る3頭は3日後に死亡しました。残る2頭は元気一杯です。



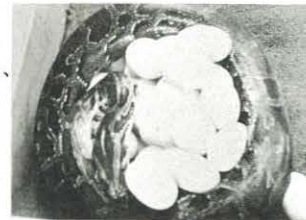
12日にはヌクテが5頭出産しました。メス

夢が広がるショッピング……  
近鉄がお届けします

上本町近鉄 TEL.(06)779-1231      アベノ近鉄 TEL.(06)624-1111      奈良近鉄 TEL.(0742)33-1111

東京近鉄

のヘビは卵がふ化するまで抱卵する珍しい性質を持っており、体をきれんさせながら体温を上げています。60日位で子ヘビが誕生することでしょう。



育課、管理課と新たに2課ができました。

☆春の動物園まつり

4月28日~5月12日までの15日間に春の動物園祭が行われます。期間中は動物の無料相談コーナー、オランウータンの演技、幼稚園児の遊技、人形劇、動物の広場、ゾウの目を計る会など盛りだくさんのプログラムが用意されています。

## 動物相談室 (4)

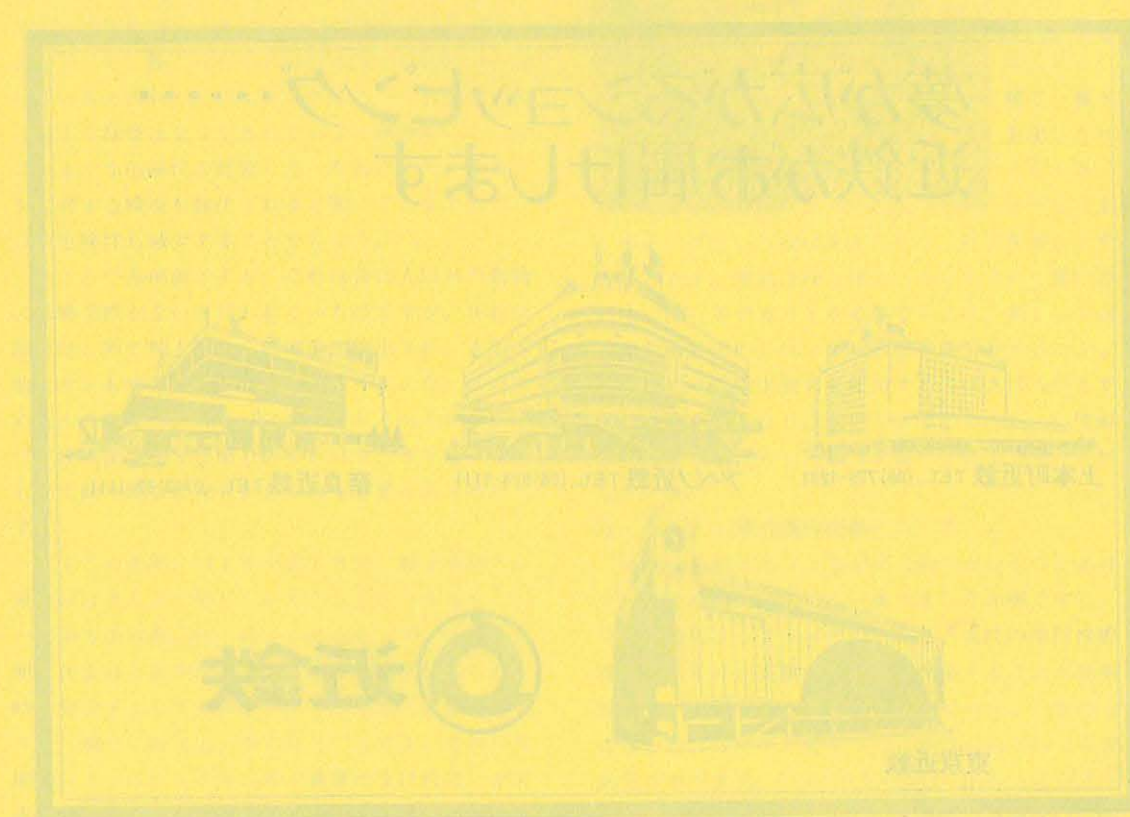
最近、サルの赤痢事件が各地で起こっていますが、今回はサルの病気についての相談を二、三拾ってみました。

### 1. サルの赤痢

3月末から関東地方の群馬、神奈川、東京などで、ペットで飼っていたサルから赤痢を感染させられる



ペットとして飼われているサルはほとんど南方原産のため、ちよ



原産地で感染し日本に輸入されてきた頃に発症して死ぬケースですので、ペットとしてサルを飼った場合は、最初の1ヶ月位は健康状況に注意するべきです。もし変な症状でも示すようでしたら動物園に相談されるなり、糞便を保健所へ持って行って検査してもらいましょう。

### 2. サルのかぜ

サルはペットとして飼うと非常にかわいいものですが、どんな病気をうつしたり、うつされたりするかわかりませんので、かわいがるのは結構なことですが、必ず人間の生活とサルの生活とは切りはなして飼うことが必要です。(宮下 実)

※動物相談は平日の3時～4時の間で、電話番号は771-8402です。

## 動物園ニュース

### ☆出産ラッシュ

春の訪れと共に動物園は出産ラッシュです。3月22日にアナグマが2頭出産しましたが、これは惜しくも死亡しました。翌23日にはアライグマが2頭生まれました。これは順調に育っていましたが、母親が溺愛のあまりなめすぎて、4月6日に1頭の仔が舌を舐め、気管、食道の1部までなめ取られて窒息死してしまいました。残る1頭はすぐ人工哺育に代え、以後元気に育っています。

3月25日にはキリンが誕生しました。今までに5頭生まれてすべてメスでしたが、やっとオスが生まれました。先月、姉さんキリンが不慮の事故で死んだばかりで母キリンも元気がなかったのですが、その悲しみも忘れさせてくれる明るいでき事です。



3月31日にはフンボルトペンギンが2羽ふ化しました。去年は、羽ふ化しましたが、うまく育たずヒナのうちに死んでしまいました。今年は順調に大きくなっており、まもなく巣から出てくるでしょう。

4月1日には去年に続きジャッカルが4頭(オス2、メス2)生まれました。去年は人工哺育しましたが、今年は母親に付けさせておきました。

4月2日にインドニシキヘビが産卵しました。このヘビは卵がふ化するまで抱卵する珍しい性質を持っており、体をけいれんさせながら体温を上げています。60日位で子ヘビが誕生することでしょう。



4月7日にエチオピアライオンが2頭(オス、メス)誕生しました。哺乳も良好です。

8日にはハナグマが5頭出産しましたが、やや体格の劣る3頭は3日後に死亡しました。残る2頭は元気一杯です。



12日にはスクテガ5頭出産しました。メスは10才近い高令で、しかも初産のためかうまく授乳させられなかったようで、4頭が翌々日死亡し、人工哺育に代えた1頭も5日後に死亡しました。

### ☆ケープペンギン入園

4月14日にケープペンギンが1羽入園しました。日本の動物園ではほとんど見られない珍しいペンギンで、シマ模様はフンボルトペンギンに似ていますが、一まわり小型です。



### ☆テナガザルの寄付

4月6日に全身まっ黒で、のどの所にふくろのあるフクロテナガザル(シャーマン)のオス1頭の寄付がありました。まだ1才位ですごくきみしがり屋で、飼育係の人にしがみついたらダッコちゃんみたいに放れようとはしません。16日にはシロテナガザルの寄付がありました。

### ☆動物園の「部」昇格

4月2日付で天王寺動物園が二類の事業所(課、扱い)から一類の事業所(部、扱い)に昇格し、飼育課、管理課と新たに2課ができました。

### ☆春の動物園まつり

4月28日～5月12日までの15日間に春の動物園祭が行われます。期間中は動物の無料相談コーナー、オランウータンの演技、幼稚園児の遊技、人形劇、動物の広場、ゾウの目方を計る会など盛りだくさんのプログラムが用意されています。

なきごえ 昭和49年5月15日発行(毎月1回15日発行)第10巻第5号(通巻106号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂

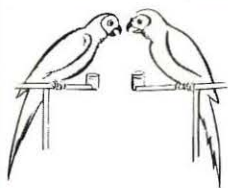
定価100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪(06)771-0201

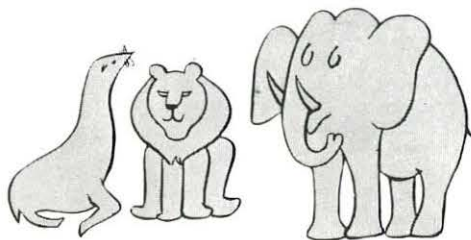
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雉類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各140cc.=70円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

〈小谷 潔・林 邦彦・大野尊信・米田敏光・樽本  
中川道朗・農本武志・深井和美・東 政宏・宮下

勲・田上 勝〉